

ワンス・ウォリアーズ (1994)

ONCE WERE WARRIORS

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ニュージーランド

色彩 Color

時間 104分

初公開日 1995/09/23

公開情報 ヘラルド・エース=ヘラルド

【解説】

ニュージーランド国内でタブーとされていたスラム街のマオリ族の現状を、やはりマオリ族の血をひく小説家アラン・ダフのベストセラーを基に映画化した作品。ニュージーランド最大の都市、オークランド郊外。ベスはジェイクと結婚して18年が経っていた。彼女は、マオリ族の王族の子孫だったが、もと奴隷の一族だったジェイクと地位も名誉も捨てて結婚した。ジェイクは、野性的な魅力にあふれた筋骨たくましい男、彼女は5人の子の母親になった今もジェイクに夢中であった。だが、ジェイクは行きつけのパブに入り浸り、拳を振りかざしては腕っぶしの強さを自慢してばかり。ベスが歯向かうような態度をとれば、彼女にも同じように拳が飛んでくる。ベスは家族の絆を守ろうと必死だったが、やがて、そんな様々な暴力が家族を崩壊させてゆく……。この映画に登場するマオリ族は、ポリネシア人の流れを汲むニュージーランドの先住民族である。ニュージーランドの全人口の約12%がマオリ族であるが、しかし、その中でも都市部のスラム街に住むマオリ族は様々な形で差別を受け、失業者が続出、犯罪者も後を絶たない。映画は、そんな彼らを取り巻く状況、彼らの怒り、哀しみなどを、力強く、そしてダイナミックに切り取ってゆく。これは、かつての“誇り”を支配者側の様々な“力”が踏みにじっているという点で、スパイク・リー監督を代表とする黒人映画にも同様して見られる問題点でもある。

【クレジット】

監督	リー・タマホリ	Lee Tamahori
製作	ロビン・ショールズ	
原作	アラン・ダフ	
脚本	リヴィア・ブラウン	Riwia Brown
撮影	スチュアート・ドライバーク	Stuart Dryburgh
音楽	マーレイ・グリンドレイ マレイ・マクナブ	Murray Grindlay
出演	レナ・オーウェン	Rena Owen
	テムエラ・モリソン	Temuera Morrison
	ジュリアン・アラハンガ	Julian Arahanga
	マヌエンガロア・カーベル	
	ジョージ・ハナレ	George Henare